

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所リーノ		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等の集団場面において、対象となるお子さんの発達特性や集団場面での社会性について細かく分析が出来る。特に社会性については独自のアセスメントツールがあり、ここ部分で現場先生方に具体的なアドバイスが行えることが、満足度にもつながっている大きな要因。	様々なお子さんへの支援を通して、事例を通して経験を積み上げている。	お子さんの特徴をつかむこと、何が理由なのかを分析することを繰り返す中で、支援のスキルをアップしていく。
2	対象となる保育所等の先生と密に連携をとること、その他、保護者さんや担当の相談支援専門員とも密に共有を図るようにしていることも、満足度の一要因となっている。	「連携こそ大事」という意識を常に持っている。	引き続きの取り組みを行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	担当の支援員が一人ということで、お受けできるキャパが限られている。	体制上、多くの支援員を保育所等訪問に充てることができない。	態勢的に大きな変更は難しいので、現状の体制でお受けする案件に対して、丁寧に対応をしていく。
2			
3			